

青色回転灯のひかりで 地域の安全・安心を支えています

地域の特性を踏まえた 青色防犯パトロールを

——仰木の里学区自主防犯協会は、どのような組織ですか？

仰木の里学区自主防犯協会は平成26年7月に設立し、自治連合会や、子ども安全リーダー、地域交通安全活動推進委員等、合計38の団体で構成されています。

令和3年からは隣の仰木学区の方々とも連携を図りながら、両学区合同で防犯活動に取り組んでいます。

——どのような活動をしていますか？

当学区は、教育施設が多く、園児や児童、生徒、学生が行き交うことから、朝夕の通学時の見回りを重点的に実施しています。

日本財団の助成を受け青色回転灯装備専用車（通称「パンダ号」）を導入したほか、警察から認可を受けた青パトが合計18台あり、子どもの見守りパトロールをはじめ、

地域の公園等の危険箇所の点検、不法投棄警戒巡視パトロール、最寄りのJRおごと温泉駅での特殊詐欺被害防止の啓発活動等、様々な防犯活動を行っています。

継続的な活動を通して 安心感を醸成していく

——子どもの安全を確保するため熱心に取り組まれていますね。

今でも不審者の目撃情報が発表されることもあり、日々の通学時のパトロールに加え、毎週水曜日には小学生の一斉下校に合わせて、巡回パトロールを実施しています。

子どもたちが声を掛けてきたり、青パトへ手を振ってきたりすることも増え、子どもたちとの距離が一段と縮まったと感じています。

また、令和4年度には関係者と情報を共有する防犯連絡会を開設し、子どもの見守り活動における課題や活動時の工夫について話し合い、活動の効果を高められるよう取り組んでいます。



仰木の里学区自主防犯協会
会長 五十嵐 源三

警察や行政と連携し 地域の安全をみんなで守る

——地域の安全に対する思いを教えてください。

住みよいまちづくりのため、警察や行政の取組だけでなく、私たち自身も、「自分の安全は自分で守る」、「地域の安全は地域で守る」を合言葉に、皆で力を合わせて防犯活動に取り組んでいきたいと思っています。

【取材日：令和5年1月18日】



↑青色回転灯パトロール隊員の皆さん



↑毎週水曜日の巡回パトロール

